

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.14 ～

「垣堺精機株式会社」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見て、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。



機械の製造工程の説明を受ける森町長

町長の見て・聞いて・話して

第14回の事業所訪問は、2月14日に垣堺精機株式会社を訪問し、垣堺正男社長にお話を伺いました。

垣堺精機株式会社は、昭和47年(1972年)秩父市上吉田において垣堺製作所を創業し、機械部品類の受託加工を開始しました。事業拡大に伴い、昭和60年(1985年)に現小鹿野町下小鹿野に工場を新設されました。

当初は時計の内製機器の部品製造等を行っていましたが、昭和61年(1986年)よりスリッターマシンの研究開発及び製造販売を開始しました。

独自に開発した「スリッターマシン」は高い技術力があるからこそ完成したもので、大企業をも凌駕する工作機械となっています。

スリッター加工とは、金属、紙、フィルムなどの素材をテープ状に細長く裁断して巻き取る加工方法です。

平成元年、独自開発の「HTC巻取りシステム」を採用し、巻取径の差による緩みや垂れを解消し、一定張力の巻取りを可能にした高精度のスリッターマシンを開発しました。

金属の表面を手作業で削り、平らにする「きさげ」という熟練による職人の技術が強みとなり、さらに貴社ならではの「切断する技術」と「巻き取る技術」で他社に負けない、より精密なスリッターマシンが造られていました。



垣堺正男会長(左)と垣堺正行社長(右)

この究極のスリッターマシンの開発、そして成功に至るまでには社長自らの長年に亘る、「できるまでやれば必ずできる」という信念のもとに生まれたものでした。苦難なことにも立ち

向かい、人との出会いを大切に、仕事を楽しみながら開発に取り組み、決して諦めない探究心があるからこそ、「世界一の機械をつくる」ものづくり企業として成功した証であると確信しました。

わが社の主力製品

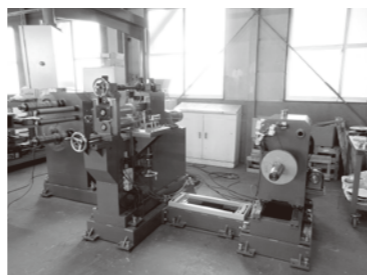
当社独自開発のHTC巻取りシステムを搭載した高精度スリッターマシン及び関連装置の設計・製造・販売・保守のすべてを手掛けておりますので、お客様のニーズに最適なスリッターマシンをご提案することで信頼を得ております。

ここに自信あり

平成30年(2018年)には、業界初の帯状の炭素繊維を連続して切断できるスリッターマシンを開発しました。これにより、細切りした炭素繊維をよって縦と横方向に編めば、様々な部材を簡単に加工できるようになり、コストも大幅に削減でき、自動車や建材などのさらなる用途拡大に貢献するため、鋭意努力をしております。



高精度のスリッターマシン(上・下)



会社概要

代表者 代表取締役会長 垣堺正男
代表取締役社長 垣堺正行(4月より就任)
従業員数 11名
創業 1972年
所在地 小鹿野町下小鹿野875
電話 0494-75-3310

地域おこし企業人
石塚からのひとこと

クライミングタウン小鹿野町
から世界へ

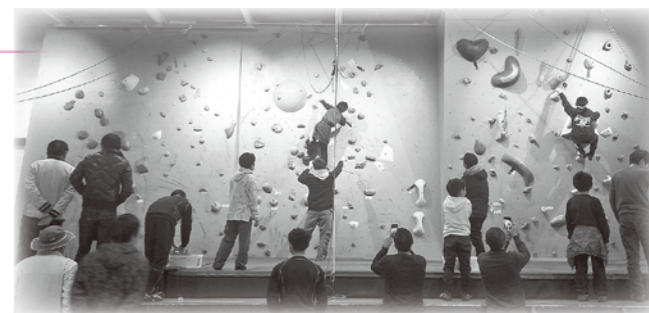
3月23日(土)、社会教育課の主催によるボルダリング講習会が、旧両神中学校体育館で開催されました。私も(参加ではなく)見学させていただきました。

講師は世界的クライマーであり、小鹿野町の観光大使でもあります平山ユージ様、Base Camp(平山ユージ様プロデュース)の嵯峨敦事業統括部長、1月のボルダリングジャパンカップの優勝者である石松大晟様とそうそうたるメンバーでした。午前中いっぱいかけての3名の講師の方々によるボルダリングのセッティングの後、午後講習会が行われました。

参加は町内外から65名様、小学校1年生から70歳の方まで、正に老若男女の方々が本当に楽しそうに一生懸命取り組んでいらっしゃる姿に感銘を受けました。

参加者の中には、2月に有明(東京都)で行われたキッズボルダリング大会決勝進出者とそのご家族8名様もいらっしゃり、県外からお越しいただきました。平山ユージ様の知名度の高さが伺われました。

弊社近畿日本ツーリストでは、山に関わるツアーを専門に取り扱っている部署と連携し、平山ユージ



様のご協力をいただきながら、ボルダリングだけではなく、日本百名山の一つ両神山、ロッククライミングの二子山等、そして他の観光資源を活かしながらクライミングタウンとも言える小鹿野町へのお客様誘客のツアーや都内で宣伝イベントを企画していく予定です。

それにしましても、北海道常呂町のカーリング選手や福井県勝山市のバドミントン選手が町ぐるみでスポーツに取り組んだ結果、世界で活躍するに至ったと同様、小鹿野町から世界で活躍する選手が現れるのも決して夢物語ではない、甘いものではないとは重々わかっているものの、そんな前向きで楽しい気にさせられる講習会でした。

地域おこし企業人 石塚 浩哉

緑の募金(家庭募金)にご協力をお願いします

町では、5月1日から1カ月間「緑の募金」運動を行います。この募金は、地球温暖化防止の基本でもある緑豊かな自然を確保し、豊かさやゆとりが実感できる生活空間の実現が図れるよう森林の整備と緑化を推進するもので全国的に展開されているものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、集められた募金の50%は(公社)埼玉県緑化推進委員会を通じて町の緑化事業に利用されます。

問合せ●両神庁舎・産業振興課 ☎79-1101

春の交通安全運動(5月11日～20日)

埼玉県では、自転車乗用中の交通事故が多発しています。特に交差点での交通事故が多発しています。

交通事故を起こさないように、車や自転車を運転するときは交通ルールを守りましょう。

問合せ●小鹿野庁舎・住民生活課 ☎75-4170

上級救命講習会を開催します

いざという時、あなたは大切な人を助けられますか?

秩父消防本部では、住民の皆さんに応急手当に関する正しい知識と技術を持っていただくために救命講習会を開催します。

日時●5月26日(日)8:30から17:15までの8時間

(普通救命講習は2時間又は3時間コースです。)

場所●秩父消防本部

定員●10人程度(普通救命講習は15人程度)

費用●参加無料

※今回以外にも、秩父消防本部では年度内に複数回の開催を予定しています。詳しくは、秩父消防本部ホームページ又は下記までお問い合わせください。

申込&問合せ●秩父消防署管理指導課 ☎21-0123

